

助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	複数情報伝達モードを備えたユニバーサルな電話リレーサービスの提供
助成対象事業者名	株式会社 SOBA プロジェクト
助成金の額	6,515千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	ろう者のニーズにそった複数情報伝達モードを備えたユニバーサルな“電話リレーサービス”を提供している。今年度は、これまで開発してきた電話リレーサービスに文字字幕機能を追加するとともに、セミナー時のパネルディスカッション機能を追加する。具体的な利用用途としては、たとえば、聴者がセミナーを発話しながら行う場合、手話通訳者が手話にて聴者の言葉を通訳し、その映像を配信しながら、その下には文字字幕がリアルタイムで表示される。つまり、手話を使うことができる聴覚障害者や手話をあまり得意としない中途失聴者らが、聴者が行うセミナーの内容を容易に理解できるようになる。
②	助成対象事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発について <ul style="list-style-type: none"> - 文字字幕配信機能を実装する。 - パネルディスカッション機能を実装する。 ○ 営業活動について <ul style="list-style-type: none"> - 本リレーサービスの拡販施策を行う。

【平成28年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発について <ul style="list-style-type: none"> - 文字字幕配信機能の実装した。 今まで開発してきた電話リレーサービスにも字幕配信機能を追加した。 - パネルディスカッション機能を実装する。 複数人の映像・音声を遠隔地に配信できるパネルディスカッション機能を追加した。 ○ 営業活動について <ul style="list-style-type: none"> - 各種方面に対する営業活動を行った。今年度からは、営業の対象範囲を広げ、さまざまな業種へのアプローチを行った。
---	-------------	---

④	助成対象事業の成果	<p>○ 開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> - 文字字幕配信機能の実装 アイセック・ジャパンと協業し、セミナー配信時に、聴者と手話通訳者の映像・音声配信に加えて、聴者が喋る言葉をリアルタイムに文字化し、文字字幕として配信する機能を開発した。これによって、手話を使うことができる聴覚障害者や手話をあまり得意としない中途失聴者らが、聴者が行うセミナーの内容を容易に理解できるようになった。 - パネルディスカッション機能の実装 複数人(人数制限なし)の映像・音声を遠隔地に配信できるパネルディスカッション機能を実装した。複数人がディスカッションする様子(聴者・聴覚障害者・手話通訳者が混在可能)を、遠隔地にいるセミナー聴講者が視聴することができるようになった。 <p>○ 営業活動について</p> <p>今年度から営業の対象範囲を広げ、従来の電話リレーサービスの機能を一般企業等にも販売した。その結果、売上を確保することができた。</p>
⑤	補足説明事項	<p>聴覚障害者向けの電話リレーサービスの用途を広げることで、収益性をたかめることができ、自立にもつながることがわかった。今後は、多数の領域に活用していくことを模索する。</p>